



大森二中だより

令和3年度 大森二中の合言葉「思いやり」
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和3年度
令和3年度修了式号
大森第二中学校
校長 成清敏治
電話 3762-6456

1・2年保護者会

来年度の教育活動の重点ですが、今年度と同じく柱が2つあります。

1つは、生徒に「生き方」をテーマとして、様々な取組の中で、社会で生き抜いていく力を育成したいと考えています。これからの人生の荒波を生き抜いていく大きな要素は、どこまでも人間性に尽きると思いますし、そこを重点にしていくことが、学校教育では重要なことだと考えます。道徳を通して人間性、総合的な学習の時間を通して課題解決や未来を開拓していく力、そして学級活動や学校行事を通して自分と向き合い自分をコントロールする調整力や周囲と協働し社会を形成する力を育成したいと考えています。ここで身に付けたい力は、コミュニケーション力、困難に打ち克つレジリエンス、論理的に物事を考えるロジカルシンキングです。科学的な研究で、将来幸せをつかみとるためには、「非認知能力」が注目されています。あいさつや礼儀等のことです。それと、自分で自分を見つめる能力である、「メタ認知」も重要であると言われていています。そのような点数では測れない力を育成することが肝要だと考えています。

次は、令和4年度からコミュニティ・スクール本格実施になります。理想的な学校と家庭・地域の在り方を模索していきたいと考えています。教育活動における学校・家庭・地域の連携が叫ばれるようになって数十年経ちますが、世の中があまりにも忙しくなりすぎて、近年はあらゆるものを外部委託するようになりました。以前は「社会総がかり」で子供の面倒を見ていましたが、地域や家庭から少しずつ切り離され、学校が抱えるものが膨れあがってしまいました。その場で解決できたものが複雑化・専門化し、いろんな協力を得なければ解決に程遠い状況を生んでしまっているのが現実です。ある意味、原点回帰して、今1度、連携の在り方や、膨れあがった課題を整理して考えていきたいと思っています。昨年度から本校は研究推進指定校にもなり、コミュニティ・スクールの実践を研究しています。今年度は幅広く皆さま方と意見交換・情報共有しながら、学校運営について考える機会を提供したいと思っております。

来年度の前半の行事として、4月12日（火）に全体保護者会を予定しています。新3年生は、5月21日（土）から2泊3日の予定で京都・奈良方面へ修学旅行です。6月4日（土）には運動会です。できれば全学年そろっての開催ができればと考えています。夏休みは従来通り、7月21日から8月31日までの予定です。新2年生は9月20日（火）から3日間で職場体験の予定です。新1年生は9月22日（木）から1泊で車山への移動教室があります。合唱コンクールは10月28日（金）を予定しています。

ともあれ、最大の目的は、子供の笑顔あふれる学校づくりです。本校はスローガンとして、「いつも心に太陽を」「笑顔満開」を掲げて教育活動を行っています。どんな状況でも乗り切るだけの強さを兼ね備えた人格を育成していきたいと考えています。そのためには、学校の責任とか、家庭・地域の責任という押し付け合いは捨て、大人も毎日、子供の笑顔のために自己更新することが肝要であると

思います。大人ががっちりスクラムを組んで、共々に頑張ってもらいたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

(保護者会 3月14日)

3学期修了式

長いようで短かった1年間が終わりました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大に振り回された1年になりました。6月の運動会は学年ごとの合同体育発表会になり、合唱コンクールも体育館での開催、マスク着用の合唱になりました。しかし、その中でも皆さんは明るく楽しく学校生活を送っていたように思います。笑い声が絶えず、思いやりをもち、落ち着いて授業に取り組んでいた様子が随所に見受けられました。今週行われた球技大会でも、それぞれ盛り上がって楽しく行われていました。たぶん、いろんな気苦労があった1年間だったかもしれませんが、こうして今日の修了式を迎えられたことを嬉しく思います。

さて、4月になれば、皆さんは学年が1つ上がり進級することになります。でもよく考えてみてください。3月31日から4月1日にかけて、皆さんは何が大きく変わるのでしょうか。いきなり身長が伸びるわけではない。急に頭が良くなるわけでもない。やはり大きく変わるのは、「意識」ではないでしょうか。1つ学年が上がる意味、これは今後高校でも大学でも、社会に出ても考えていかなければいけないことかもしれません。

季節は冬の寒い時期を越えて春になりました。冬は必ず春になります。万物が生き生きと芽吹き、これから輝く時期が春です。皆さんの年頃を「青春」とも言います。春は何かが大きく動く、ダイナミックに動く時期でもあります。桜の花も春という季節に満を持して咲き開きます。皆さんもそれと同じく、中学校の時期はしっかり学習し、頭も体も鍛え、未来の土台を築く時です。今、手を抜いてしまうと立派な建物を作ることはできません。その意味で、スタートである4月をどのような意識をもってスタートするかを考えてください。1年間を駆け抜けるには、ダッシュと勢いが大事です。

4月からの新しい学年での行事は、今のところ予定通りに実施していきます。ただ、コロナ禍の中ですから、全体で集まらないとか、行事を縮小して実施するとかの可能性はあります。大森二中の教育活動の重点に、来年度も個々の「生き方」を充実させる取組を考えていきたいと考えています。人間性を高め、課題解決しながら未来を切り拓き、自分をコントロールしながら集団を大切にする、コミュニケーションや困難に打ち克つ人格、日々の計画性や論理性などを重視した心を育ててもらいたい。生き方を充実させることで、未来を見通し、今何をやらなければいけないかが明確になり、学習にも力が入る。自分の能力を最大限に引き出すことができると考えています。

2年生は、5月には修学旅行があります。6月には運動会…できれば全校生徒で行いたいと思います。1年生は9月に職場体験があります。様々な取組には意味があります。よく考えながら、1つ1つの取組を充実させ、大森二中での生活を楽しんでください。

明日から4月5日まで11日間の春休みです。どうしても気が抜けて、生活リズムを崩してしまいがちですが、やり残したことや今までの復習、そして家の手伝いなど、チャレンジ精神をもって取り組んでみてください。充実した春休みを過ごすことを期待しています。

(修了式 3月25日)

